



第3回 JBCF 大阪クリテリウム in 泉大津フェニックス

TECHNICAL GUIDE BOOK



大会実施概要

OUTLINE OF THE EVENT

Ver-20250331

- ◆開催日 2025年4月6日（日）
- ◆開催地 大阪府泉大津市夕凧町 泉大津フェニックス多目的広場 特設コース
- ◆主催 JBCF（一般社団法人 全日本実業団自転車競技連盟）
- ◆共催 大阪府自転車競技連盟／大阪市自転車競技連盟
- ◆後援 堺市、JCF（公益財団法人 日本自転車競技連盟）
- ◆主管 大阪府自転車競技連盟／大阪市自転車競技連盟

1.スケジュール

内容	開始-終了予定時刻	備考
4月6日 (日)		
開門	7:30	
選手受付、ライセンスコントロール	10:00-11:45	受付ブース
マネージャーミーティング	12:10-12:30	検車エリア前
試走	12:30-12:45	コース
F+ JCF登録女子 (1.0X20周=20.0km)	12:50-13:25	コース
E1決勝 (1.0X20周=20.0km)	13:35-14:05	コース
E2決勝 (1.0X20周=20.0km)	14:10-14:40	コース
E3決勝 (1.0X20周=20.0km)	14:50-15:20	コース
Y 決勝 (1.0X10周=10.0km)	15:30-15:45	コース
M 決勝 (1.0X20周=20.0km)	15:50-16:25	コース
表彰式	競技終了後 随時	

※マネージャーミーティングは各チーム必ず出席すること。

2.競技内容

カテゴリー	周回数	コース/1周	距離	スプリント賞(地元賞)	レーティング
E1	20周	1.0km	20.0km	5,15周回完了時	G
E2	20周	1.0km	20.0km	5,15周回完了時	G
E3	20周	1.0km	20.0km	5,15周回完了時	G
F	20周	1.0km	20.0km	5,15周回完了時	G
Y	10周	1.0km	10.0km	5周回完了時	H
M	20周	1.0km	20.0km	5,15周回完了時	G

3.競技規則

『日本自転車競技連盟の競技規則集』、『JBCF2025規程«JET/JFT/JYT/JMT»』の最新版、大会特別規則により運営する。

『JCF競技規則集』

<https://jcf.or.jp/road/rule/>

『JBCF2025 規程«JET/JFT/JYT/JMT»』

https://jbcfroad.jp/files/2024/2024_regulation_0912.pdf

- (1) ボディゼッケンは腰の位置に縦に2枚、背骨を挟んで左右5cm離して装着すること。
- (2) U17、U15のギア比制限はJCF規則通りとするが、その機材を準備できない場合は、対象外ギアを使用しない誓約をすることで参加を認める。対象者はエントリー時点でこれに誓約したものとみなす。
- (3) 重量を調整する目的の付加物は認めない。

4.その他参加にあたっての注意事項

- (1) レーススタート時間、表彰式開始時間は、変更の可能性があるので注意すること。
- (2) 会場入場時に道路を走行する場合は、道路交通法を厳守し、モラルを持ち、マナーを守って行動すること。(ウォームアップのための会場周辺道路の走行は禁止する。)
- (3) フレームプレートと計測タグを持ち帰ってしまった場合は早急に事業部 (info@jbcf.or.jp) までメールにて連絡すること。
- (4) 予測できない事故や天候の変化により競技運営が不可能とレースディレクターが判断した場合、大会を中止または内容を変更することがある。この場合参加料は返金しない。

5.コミッセール

レースディレクター : 石井 章
チーフコミッセール : 愛場 政幸
コミッセールパネル : 愛場 政幸、山尾 城司、野木 美有季

6.会場 (詳細一覧)

【開催地】

泉大津フェニックス多目的広場 特設コース 1.4km/周
大阪府泉大津市夕凧町 泉大津フェニックス多目的広場内

【大会本部】 受付テント

【ライセンスコントロール】 受付テント

【マネージャーミーティング】 検車エリア前 (参照: P4 MAP①)

【選手駐車場】 大会専用駐車場 (参照: P5 MAP②)



- Finishした選手は第1コーナーから第2コーナーの間でコミセールの指示に従いコース外へ出ること。
- コミュニケボードは表彰スペース脇に設置する。
- ピットエリアへの入退場は最終コーナー手前に行うこと。コースの横断の際には審判員の指示に従うこと。



会場への進入路と駐車場について

- 汐見公園の角を過ぎ、「フェニックス泉大津基地」の看板を過ぎて100mほど進む。
- 左手のパナソニックの幟が目印です。側道（アクセス道路）に入ってください。
- アクセス道路より会場へは、徐行・左側通行をお願いいたします。
- 側道から会場へはダンプカー走路を横断します。ダンプカー走行の頻度は多くありませんが、十分注意して横断ください。

会場のご利用および駐車に関するお願い

- 本大会では、会場の一部区画をお借りして大会を開催しています。そのため、上記の図で「立入制限」に示しているエリアには立ち入らないでください。

第3回 JBCF 大阪クリテリウム in 泉大津フェニックス 大会特別規則

Part1 General Aspects / 第1部 総務事項

A. 第3回JBCF大阪クリテリウム in 泉大津フェニックス

自転車愛好する若人が、それぞれの分野において日頃鍛錬を重ねた技術と能力を競い合い、体力の向上および健全な精神の滋養をはかり、自転車競技を通じて地域社会との交流に寄与することを目的とする。

B. チームカー

チームカーの運用は行わない。

C. 救急処置

緊急搬送先病院

医療法人泉秀会 かわい病院：〒595-0023 大阪府泉大津市豊中町2丁目6-5 Tel：0725-21-6222

泉大津急性期メディカルセンター：〒595-0031 大阪府泉大津市我孫子97番1 Tel：0570-02-1199

※状況により別の病院に搬送される場合もあります。

※レース会場では応急手当以外の処置は行いません。(救護所開設時間：9:00～16:00)

Part2 Technical Aspects / 第2部 競技事項

ARTICLE 1. / 第1条 主催者

第3回JBCF大阪クリテリウムin泉大津フェニックスは、(公財)日本自転車競技連盟(JCF)及び、(一社)全日本実業団自転車競技連盟(JBCF)の規則の下に、JBCFが主催し、大阪府自転車競技連盟、大阪市自転車競技連盟が共催し、大阪府自転車競技連盟、大阪市自転車競技連盟が競技面を主管して開催される。当大会は、2025年4月6日に行われる。

ARTICLE 2. / 第2条 参加について

この大会は、JBCF2025年 規程に従い、2025年JBCF度加盟登録が完了し、大会実施要項の申込方法の通りにエントリーした競技者が参加できる。また、JBCFが特別に認めた競技者が参加できる。

ARTICLE 3. / 第3条 JBCFレースランキング

この大会は、「大会実施概要 2.競技内容」に記載のレーティングに従い、JBCF 2025 ロードレースポイント表を基にポイントが付与される。

ARTICLE 4. / 第4条 大会本部、ライセンスコントロール、マネージャーミーティング]について

大会本部は、P.4MAP①の「受付テント」とし、ライセンスコントロール、マネージャーミーティングの場所と時間については、「本テクニカルガイド 1.スケジュール」に記載の通りとする。

ARTICLE 5. / 第5条 各種情報とコミュニケ

競技結果と各種情報は、P4 MAP①「表彰」、JBCFのホームページ (<https://jbcfroad.jp/>) および、大阪車連SNS (https://twitter.com/OSAKA_Cycling?s=09) に掲載する。

ARTICLE 6. / 第6条 ラジオツアー

ラジオツアーは、実施しない。

ARTICLE 7. / 第7条 検車・招集・出発

- (1)検車：各自スタート**15分**前までにバイクチェックを済ませておくこと。
ユースクラス(U17、U15)のギア比制限はJCF規則通りとするが、その機材を準備できない場合は対象外ギアを使用しない誓約をすることで参加を認める。対象者はエントリー時点でこれに誓約したものとみなす。
- (2)招集：選手は、スタート時刻**10分前**までに、P4 記載場所にて出走サインを実施する。
F・登録女子においてはJBCF登録外のJCF登録選手女子も出走する。ただし表彰は別途行う。
- (3)出発：スタート時刻10分前からアッシャーの指示に従い、招集エリアからスタートラインに移動する。

ARTICLE 8. / 第8条 ニューラルサポートについて

主催者によるニューラルサポートは行わない。

ARTICLE 9. / 第9条 飲食料の補給について

飲料水、食料の補給は一切認めない。

ARTICLE 10. / 第10条 機材の補給について

機材交換は、P4にて指定する機材ピットのみ認める。

機材ピットでサポートを行うチームスタッフは、以下の有効なライセンス保持者であること。

記：

日本スポーツ協会自転車競技各級コーチ・各級指導員、JCFチームアテンダント。

UCIが認めるコーチまたはスポーツディレクター。

ARTICLE 11. / 第11条 タイムアウトについて

周回遅れはDNFとする。ただし、数名の周回アップはアドバンテージを認める。

ARTICLE 12. / 第12条 スタート方式について

全カテゴリーにおいて、ローリングスタートとする。

アクチュアル（正式）スタートは、隊列が整ったと判断されたタイミングで行う。

ローリング中の事故による正式スタートの延期は原則として行わない。ただし、複数の選手が絡む落車等の事案が起きた場合には、協議の上決定する。

ARTICLE 13. / 第13条 棄権、失格について

失格、または棄権した競技者は、主催者による特別な許可のある場合を除き、競技を続けることも、非公式に出走することもできない。

ARTICLE 14. / 第14条 ペナルティ

ペナルティは、最新のJCF競技規則、及び JBCF 2025 規程«JET/JFT/JYT/JMT»による。

また、定められた走路以外の通路等を故意に走行した場合は、ペナルティの対象とする

ARTICLE 15. / 第15条 表彰

この大会においては、最終順位について下記の通り、表彰される。

(1) E1、E2、E3、Y、M 1位～6位 賞状、副賞 (JBCF規程)

(2) F 1位～3位 賞状、副賞 (")

(3) 各ツアーリーダージャージ

エリートリーダー、U19リーダー、クリテリウムリーダー、ユースリーダー、マスターズリーダー、フェミニンリーダー

※ 出走人数が5名以下の場合、1位のみ表彰とする。

※ 入賞対象者は必ず表彰式に出席し、賞状・副賞を受け取ること。

・この大会では、下記についても表彰する。

スプリント賞（地元賞） 1位のみ授与する。

※スプリント賞は5周回完了時と15周回完了時に設ける。

（E1:2回、E2:2回、E3:2回、F:2回、Y:1回、M:2回）

※本テクニカルガイド P2 競技内容を参照

ARTICLE 16. / 第16条 公式式典

・参加者は全員、主催者によって企画された種々の公式セレモニーに正しい服装で出席することを義務付ける。
各ツアーの首位の競技者には、それを示すリーダージャージを着用することを義務付ける。
レース進行状況により、開始/終了時刻が変動する可能性があるため、表彰対象選手・チーム等は、会場アナウンスに注意すること。

ARTICLE 17. / 第17条 ドーピング・コントロール

・本大会参加者（18歳未満の競技者を含む。以下同じ）は、本大会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなす。また、18歳未満の競技者については、本大会への参加により親権者の同意を得たものとみなす。

ARTICLE 18. / 第18条 ニュートラリゼーションについて

- (1) 各カテゴリーのレースにおいて、2周回のニュートラリゼーションを認める。
但し、地上または移動審判員により認定を受けない場合はニュートラリゼーションを認めない。
復帰する際には、審判員の指示に従うこと。
- (2) 適用条件は、「正当な落車」「パンク」「自転車の重要な部分の破損」のみに限られ、その他の理由（変速不良、体調の悪化等）では、ニュートラリゼーションは認められない。
- (3) 残り4周回（残距離4.0km）以後はニュートラリゼーションを認めない。ニュートラリゼーションを与えられた競技者は最後の3周回以降、復帰することはできない。
- (4) ニュートラリゼーションより復帰した直後のスプリント賞は適用外とする。
- (5) 最終周回に認められる事故にあった場合、事故時に位置していた集団の最下位の順位とし、同集団の最後尾と同タイムを与える。

ARTICLE 19. / 第19条 レース中断・キャンセルについて

・急激な天候（雷雨等）の変化による中断、中止等判断
参加者の安全を考慮し、雷雨等の急激な天候の変化が予想される段階で中断・レース距離の変更を検討する。
・再スタート、キャンセル、レース成立の判断は、主催者及びコミッセルの判断・指示に従うこと。
なお、レースがキャンセルされた場合は、完走ポイントのみ付与する。

アンチドーピングについて

1.「JBCF第3回大阪クリテリウムin泉大津フェニックス」は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象となりうる大会です。

2.本競技会参加者（18歳未満の競技者を含む。以下同じ）は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなします。18歳未満の競技者については、本競技会への参加により親権者の同意を得たものとみなします。

3.本競技会に参加する18歳未満の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携帯して下さい。親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構（JADA）のウェブサイト(<https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>)からダウンロードできます。18歳未満の競技者はドーピング検査の対象となった際に、親権者の署名が記載された当該同意書を担当検査員に提出して下さい。なお、親権者の同意書の提出は18歳未満時に1回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出て下さい。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後7日以内にJADA事務局へ郵送にて提出して下さい。親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続に一切影響がないものとします。

4.本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意して下さい。

5.競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後2時間の安静が必要となるので留意して下さい。

6.日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト (<http://www.playtruejapan.org>)にて確認して下さい。